





428 Group のSDGs への取り組み 45 期実績

SDGs の 17 の目標	45 期目標	45 期通期実績報告
 <p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>飢餓を終わらせる、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する</p>	<p>・ HACCP（ハサップ）に基づく衛生管理の徹底 【継続】</p>
 <p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>質の高い教育をみんなに 全ての人々への、包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する</p>	<p>・ スマホ教室の定期開催 【一部修正】 ・ 地域のデジタルデバインド（情報格差）解消に向けた取り組み【修正】 デジタル活用支援事業と題して、全国実施型（類型 A）での教室開催（八女店、中津如水店）、地域連携型（類型 B）での自治体と一体となつての教室開催（うきは店、八女店、みやま店）による地域貢献。</p>
 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>ジェンダー平等を実現しよう ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女兒の能力強化を行う</p>	<p>・ 女性社員、外国人やシニア人材の活躍促進 【継続】 ※役員、店長・副店長やリーダー等 ・ 育児・介護休業の利用促進 【継続】</p> <p>・ 技能実習生の監理団体「日緬亜細亜事業交流協同組合」の活用提案による人材確保と外国人の活躍を支援 【新規】</p>
 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>エネルギーをみんなに、そしてクリーンに すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する</p>	<p>・ 導入した EV 車の活用 【継続】 ・ 自家消費型の太陽光発電等の導入提案により、地元のクリーンエネルギー拡大に寄与する 【新規】</p>

・ HACCP（ハサップ）に基づいて衛生管理を実施

・ 出張スマホ教室や自治体との連携など、昨年からは新しい分野の地域貢献が進みました。今後は、更に活動範囲を広げ、カリキュラムの工夫や、地域のデジタル化のお手伝いなど、必要とされる教室展開を進めていきたいと考えています。

(単位：人)

スマホ教室（参加人数）	43期	44期	45期
店頭・出張	—	7,841	3,172
自治体連携	—	62	1,626
総計	17,309	7,903	4,798

<女性社員、外国人やシニア人材の状況>

(単位：人)



		2020年7月	2021年7月	2022年7月	2023年7月
女性社員	役員数	1	1	1	1
	管理職数	44	44	42	28
シニア従業員数		36	45	39	37
外国人従業員数		11	14	10	7

※女性管理職にはリーダーを含む。外国人従業員には技能実習生、特定技能外国人を含む。

- ・ 2023年7月時全社員数 317名、男性 149名（47%）／女性 168名（53%）社員数は前期比減少したが、男女構成比は変わらず。
- ・ シニア従業員の全社員に対する構成比は今期 11.6%、前期 11.4%と微増。
- ・ 外国人従業員の全社員に対する構成比は今期 2.2%、前期 2.9%と微減。
- ・ 育休・介護休業の利用者は、2023/1月現在で9名（女性）

・ 監理団体「日緬亜細亜事業交流協同組合」による技能実習生受入れ提案を実施
当社を含め3社9名の技能実習生受入れが決定。

- ・ 福岡法人拠点に電気自動車を1台配備（2020年9月）
EVカーは走行中に二酸化炭素を排出しない為、二酸化炭素排出抑制に役立っている。
EVに搭載される蓄電池は、余った電力を蓄積して電力不足時や災害時に利用することができ、地域をサポートする役割も担っている。
- ・ 2012年から売電型の太陽光発電事業を実施し、2022年3月には自家消費型の太陽光発電を中津拠点に設置した。
現在、当社の導入事例に基づき、取引先に対し自家消費型太陽光発電を推奨している。

SDGs の 17 の目標		45 期目標	45 期通期実績報告																				
 <p>8 働きがいも 経済成長も</p>	<p>働きがいも経済成長も 包摂的かつ持続可能な経済成長及び すべての人々の完全かつ生産的な雇 用と働きがいのある人間らしい雇用 (ディーセント・ワーク) を促進する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生産性の向上 【継続】 月間残業 20 時間以内 【継続】 各拠点で最終退社目標を設定し、意識改革を図る 【継続】 年間有休取得 50%以上 【継続】 新規事業や友好的 M&A の取組み 【継続】 	<p><月間残業時間と年間有休取得率></p> <p style="text-align: right;">(単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="1709 254 2712 432"> <thead> <tr> <th>全社</th> <th>2020年7月</th> <th>2021年7月</th> <th>2022年7月</th> <th>2023年7月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>残業月平均時間</td> <td>14.8時間</td> <td>10.6時間</td> <td>18.2時間</td> <td>17.3時間</td> </tr> <tr> <td>残業20時間超平均人数</td> <td>90名</td> <td>67名</td> <td>107名</td> <td>90名</td> </tr> <tr> <td>年間有休取得率</td> <td>58.4%</td> <td>63.1%</td> <td>71.4%</td> <td>79.6%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 月の平均残業時間は前期より減少したが、まだ高止まっている。また、残業 20 時間超平均人数も高止まっている。 一方、年間有休取得率は高い水準となった。 <p><新規事業や友好的 M&A の取組み></p> <ul style="list-style-type: none"> 新規事業募集キャンペーン 社内で展開し、15 件のアイデア応募があった。 新規事業・MVV プロジェクト 2022 年 12 月～2023 年 3 月初旬まで外部コンサルタントに依頼し、選抜メンバーによる新規事業と新しい MVV 制定のプロジェクトを行った。 本プロジェクトからは、「採用支援事業」と「フィットネス事業」を新規事業として取り上げる提案を受けた。 → 提案の趣旨を踏まえ、歩行特化リハビリ型デイサービスのコンパスワークを新規事業として取り組むこととし、2023 年冬の開業に向け準備中。 	全社	2020年7月	2021年7月	2022年7月	2023年7月	残業月平均時間	14.8時間	10.6時間	18.2時間	17.3時間	残業20時間超平均人数	90名	67名	107名	90名	年間有休取得率	58.4%	63.1%	71.4%	79.6%
全社	2020年7月	2021年7月	2022年7月	2023年7月																			
残業月平均時間	14.8時間	10.6時間	18.2時間	17.3時間																			
残業20時間超平均人数	90名	67名	107名	90名																			
年間有休取得率	58.4%	63.1%	71.4%	79.6%																			
 <p>14 海の豊かさを 守ろう</p>	<p>海の豊かさを守ろう 持続可能な開発のために海洋・海洋資 源を保全し、持続可能な形で利用する</p>	<ul style="list-style-type: none"> エコバック、紙袋の推奨で海洋レジ袋ゴミを削減 【継続】 レジ袋辞退率 【フードサービス事業部】 70%以上を目指す。 【リテール事業部】 90%以上を目指す。 	<p><フードサービス事業部></p> <ul style="list-style-type: none"> 目標 70%以上 → 通期辞退率 56.49% (前期の 54.24%から改善) <p><リテール事業部></p> <ul style="list-style-type: none"> 目標 90%以上 → 通期辞退率 92.6% (中津店、筑後店調べ) <p>*なお、2023 年 3 月より無料紙袋の配布を中止したことから、3 月以降は昨年比でレジ袋使用者が増加している。</p>																				